

社会保障		工藤 一成	
-------------	--	--------------	--

配当年次	1 年次	配当学期	2 学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	○ 社会保障に関連する専門的知識を修得する。
	実践知識	
技能	分析解決技能	
	実務技能	
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	
	地域リーダー態度	○ 地域のリーダーとして社会保障に関する諸問題に積極的に取り組むことができる。
	国際協調態度	

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

社会保障

授業の概要 社会福祉から公衆衛生までの幅広い領域にわたる社会保障の制度や仕組みは、社会通念や人口構成、生活環境、格差などの文化的、社会的、政治経済的な状況によって形づくられ、変化していきます。人間や社会とは何かという根源的な問いを原点に社会保障の概念を整理し、制度についての理解を深めるとともに、社会保障に関する事業やリスクのマネジメント、地域包括ケアなど、社会保障をより良く運営する方法についても考えていきます。

教科書 適宜、資料を配付します。

- 参考書**
- ・ 椋野美智子、田中耕太郎著『はじめての社会保障 -福祉を学ぶ人へ-』有斐閣
 - ・ 埋橋孝文、大塩まゆみ編著『新・基礎からの社会福祉5 社会保障』ミネルヴァ書房
 - ・ 広井良典著『定常型社会 新しい「豊かさ」の構想』岩波新書
 - ・ 広井良典著『日本の社会保障』岩波新書
 - ・ 見田宗介著『現代社会の理論』岩波新書
 - ・ J・K・ガルブレイス『ゆたかな社会』岩波現代文庫
 - ・ 立川昭二著『病気の社会史』岩波現代文庫

授業計画・内容	
① 社会保障の概念と歴史	【概念・定義とその形成史】
② 社会保障制度の基礎知識（1）	【現行制度や法令の体系と専門用語】
③ 社会保障制度の基礎知識（2）	【各種法人などの事業主体、事業内容、専門職】
④ 社会福祉制度の概要	【公的扶助、障害福祉、高齢者福祉】
⑤ 医療保険制度と医療提供体制	【皆保険とフリーアクセス、医療計画】
⑥ 介護保険制度とサービス提供体制	【介護保険事業計画、サービス提供主体】
⑦ 公衆衛生の概要	【感染症・疾病対策、保健衛生と地域づくり】
⑧ 医業とマネジメント	【事業経営、リスクマネジメント】
⑨ 介護事業とマネジメント	【事業経営、リスクマネジメント】
⑩ 社会保障制度改革の概要と課題	【社会福祉基礎構造改革、社会保障・税一体改革】
⑪ 社会保障と地域づくり	【住民・地域の役割、インフォーマルな社会保障】
⑫ 超高齢・少子社会、高度消費社会、格差社会の諸相	【生き方、老い方、社会通念】
⑬ 地域包括ケアの概念と展望	【住まい、生活支援、コミュニティビジネス】
⑭ 海外の社会保障事情	【欧米、アジアと日本の社会保障制度の比較】
⑮ これからの社会保障	【総括とビジョン】

成績評価の方法 講師と受講生の議論をもとに進め、課題に対するプレゼンテーションやレポートを求めます。
 日常の授業への取り組み・・・50%
 レポート及びプレゼンテーション（1回）・・・50%

事前・事後学習の内容	学習支援フォルダに毎回の講座資料をPDFファイルにて予め挙げておきますので、参照し、疑問点などを整理したうえで授業に臨んでください。
履修上の注意	制度論を基点に、時事問題や事例などを課題として討議します。社会学、法学、経済学、財政学、経営学、文化人類学などの初歩的な知識があれば理解が深まりますが、日々の新聞を読み、自ら考える姿勢や知見があれば十分に履修できる内容です。
担当者からのメッセージ	社会保障に関する制度や方法論はもとより、それらの基底にある人間や社会の本質についても考えながら、実務や事業経営、リスクマネジメント、社会のあり方などについて議論を深めていきたいと考えています。
キーワード	社会保障制度の枠組みと実務、非営利法人の経営、コミュニティビジネス、地域づくり